

「令和7年那覇市消防出初式」でハザードマップ等啓発 ～那覇市女性防火クラブとチラシ等を配布し、防災・防火等を啓発～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、1月13日（月）に沖縄セルラースタジアム那覇（那覇市）で開催された「令和7年那覇市消防出初式」にて、ハザードマップの活用方法等について啓発活動を実施しました。

「令和7年那覇市消防出初式」では、はじめに知念 覚 那覇市長から「昨年11月の沖縄北部豪雨では、沖縄では経験したことのないような被害の発生や、能登半島地震では道路寸断等により救助活動が開始できないなどの状況が発生し、豪雨等の自然災害に対する有効的な防災対策が必要と再認識させられた。これからも市民一人一人の防災意識を高め、地域一丸となって災害に備える体制構築に力を入れていく。」と訓示がありました。その後、地域の子どもたちによる火の用心の呼びかけや、災害のない年になるようお願いをこめた消防士による一斉放水が行われました。

沖縄支部では、出初式参加者に対して、ブースにて防災に関する相談対応、那覇市女性防火クラブとともに、ハザードマップの活用方法や、生活再建のための地震保険、防火対策等のチラシ等配布にて、防火・防災の啓発をしました。

沖縄支部では、防災イベント等多くの方が集まる機会を通じて、ハザードマップの活用方法や災害等発生後の経済的備えの重要性を啓発することを通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



チラシ等配布の様子①



チラシ等配布の様子②



ブースの様子



出初式の様子

＜お問い合わせ先＞日本損害保険協会 沖縄支部 山本 周、山田 直毅 (TEL:098-862-8363)

～SDGsの輪をもっと広げよう～会員会社と共に安全・安心で持続可能な社会へ。～